

- ・ 地域の人事部
- ・ 外国人材受入相談支援事業

取り組み紹介



概要

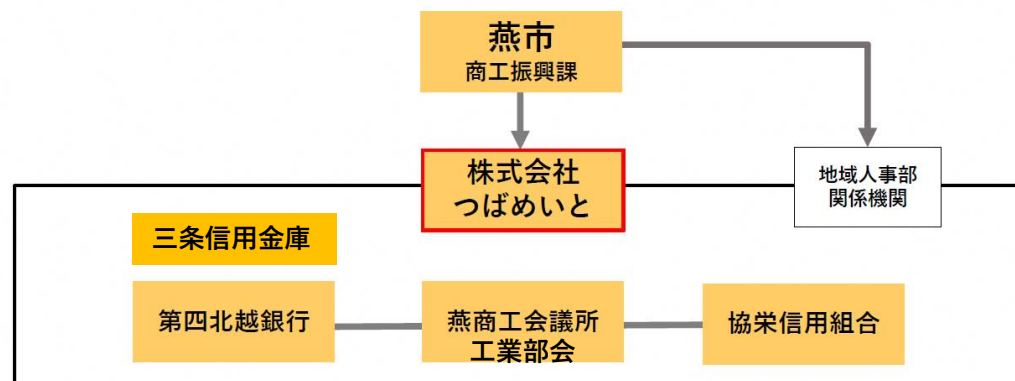
「地域の人事部」とは金融機関、商工会議所などの地域の支援機関、自治体等がそれぞれの強みを活かし、一丸となって地域中小企業の多様な人材活用を推進し、地域企業における「**人的資本経営**」の定着を目指す体制。

燕市の地域の人事部では、人材不足に苦慮する市内企業に対し、それぞれの強みを持った地域の支援機関によって構成した協議会（下図）が、企業の掘り起こし、経営課題把握・整理、人材像の明確化、**企業と兼業・副業人材のマッチング**、その後のフォローを行い、多様な人材を活用した地域企業の成長を支援。

地域一体となって人材と企業のマッチングとフォローを行い、**燕の産業を未来につなぐ**ため、地域が連携して製品の価値を高めることや、経営力強化を目指す。

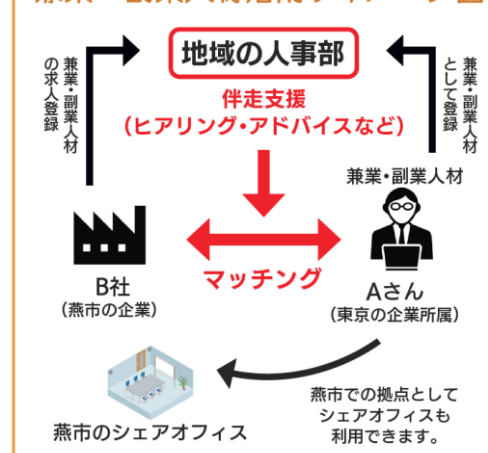
燕市の地域の人事部体制

地域の人事部協議会



兼業・副業人材活用のイメージ

兼業・副業人材活用のイメージ図



令和4年度の実績

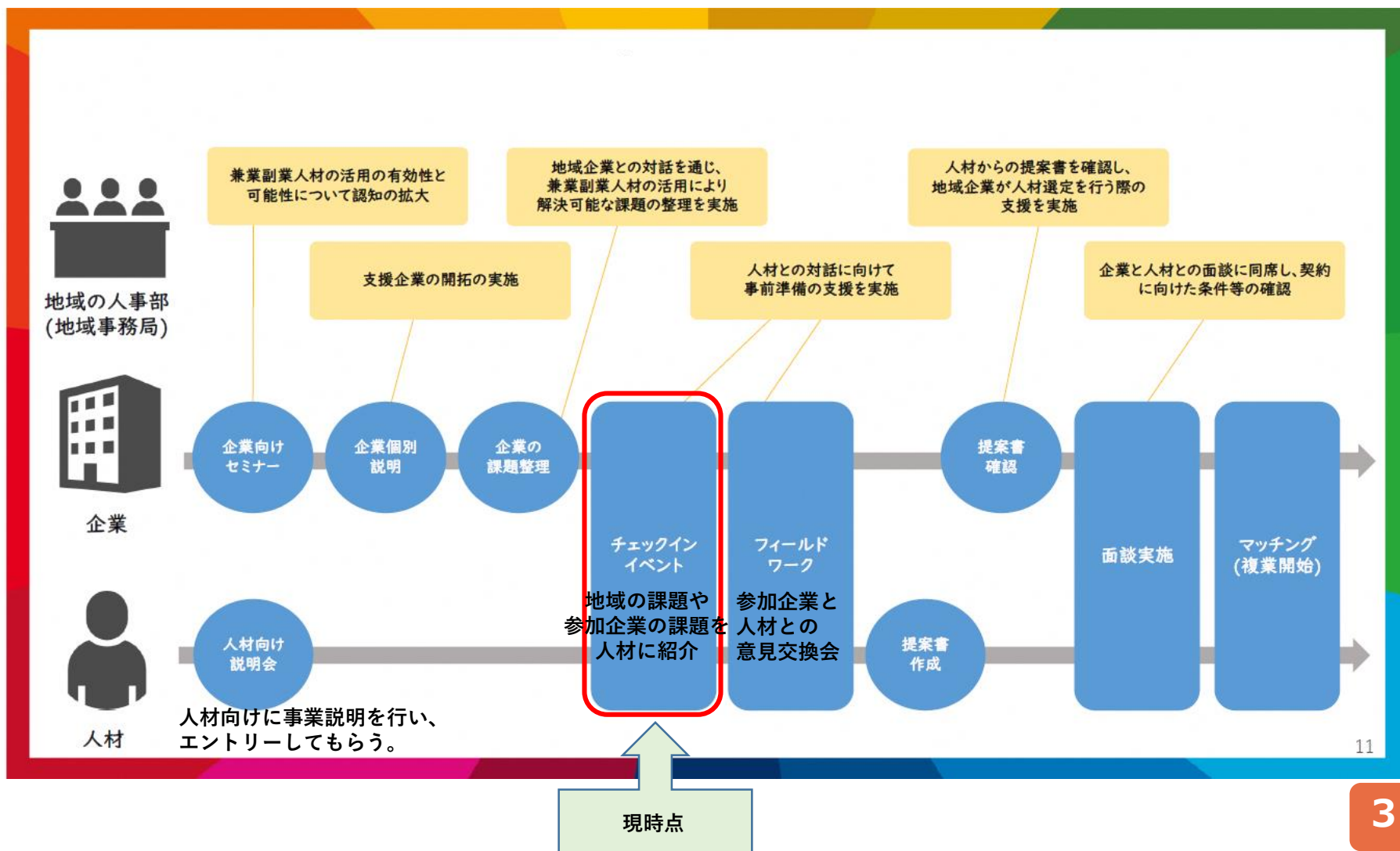
7社11件のマッチング

企業	マッチングした外部人材	取り組み内容
A社	・ キャリアコンサルタント	若手社員中心に職場環境改善やビジネスチャンス拡大のプロジェクトチームを発足し、推進中。
B社	・ ウェブディレクター	自社ブランドサイトのバージョンアップに向けて、作業を進行中。
C社	・ 企業経営コンサルタント	商品開発や販路拡大を目指し、展示会の視察や情報収集を実施中。
D社	・ ディレクター ・ キャリアコンサルタント ・ マーケティング専門家	新商品開発に向け情報収集と企画立案中。また、人事評価の見直しを議論し、制度改革に取り組み中。
E社	・ プロダクトデザイン会社経営者	商品開発に向けて動き始めたところで、デザインコンクールにエントリーしている。
F社	・ キャリアコンサルタント	企業理念を見直し、会社としてやりたいことを再確認するとともに、具体的な人事評価制度を構築中。
G社	・ プロダクトデザイン会社経営者 ・ ブランディング専門家 ・ プロジェクトマネージャー	EC サイト構築や展示会出展、チラシ作成、オープンファクトリーの開設を行った。

1. 地域の人事部

今後の展開

今年度は5社の市内企業が参加予定。



2. 外国人材受入相談支援事業

概要

人手不足を解消するための手段の一つとして、企業の外国人材の採用等への関心が高まる中、受入推進アドバイザーによる相談・対応体制の構築をする。

高度外国人材・特定技能外国人材に関する相談・人材紹介業務の実績のある受入推進アドバイザーによる外国人材受入のノウハウや成功事例を交えたセミナーを開催し、その後随時企業の相談を受け付ける。

令和5年度の実績

外国人材受入セミナーの開催

- 開催日 令和5年7月19日（水）
- 開催時間 16時から17時30分まで
- 開催場所 吉田産業会館 第一会議室
- 実施内容 受入推進アドバイザーによる外国人材受け入れについて説明。
受け入れ企業による事例紹介。
- 参加企業 18社、25名参加



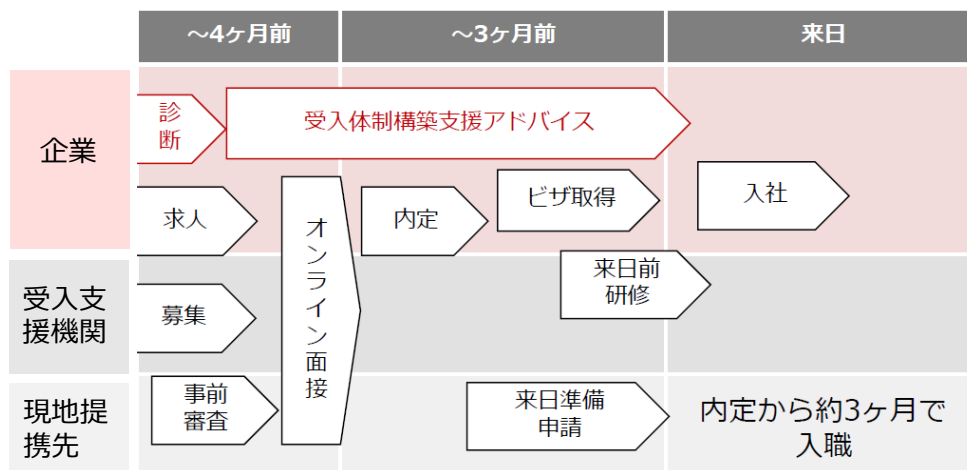
個別相談会の実施

- 開催日 令和5年7月20日（水）
- 開催場所 各社個別訪問
- 実施内容 受入推進アドバイザーが外国人採用を検討している企業を訪問し個別相談を実施。
- 参加企業 4社
- 実施成果 セミナー及び個別相談会に参加した企業1社で高度外国人材2名、特定技能実習生2名の受け入れを検討中。



2. 外国人材受入相談支援事業

外国人受入までの流れ



今後の展開

■外国人材受入アドバイザー業務

引き続き、市内企業からの外国人材受け入れに関する問い合わせについて、個別にアドバイザーが対応し、相談を受け付ける。

■第2回セミナー開催について

年度内に第2回セミナーの開催を検討。実際に市内で働く外国人材から業務内容や生活面について紹介してもらう。併せて、既に外国人材を受け入れている企業からの事例紹介を行う。

《参考》

「高度外国人材」

⇒日本国内又は海外の大学・大学院卒業等の最終学歴を有し、企業において、技術者、法律・会計等の専門職や営業職、経営等に従事する外国人。

「特定技能外国人材」

⇒2019年4月に創設された、日本国内で人手不足が深刻とされている特定産業分野（14業種）において、即戦力となる外国人材の就労が可能になった在留資格。